

2021年度精密工学会春季大会報告 —初めてのオンラインによる開催について—

1. はじめに

2021年3月16日(火)から22日(月)まで、精密工学会学術講演会春季大会がオンラインで開催されました。学術講演会は、研究開発成果や製品群を発表して情報交換する場であり、本来であれば、会員の皆様を電気通信大学(東京都調布市)にお迎えして、対面形式で開催する予定でした。しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、2021年度につきましては、講演者・参加者の健康と安全を最大限配慮しながら、オンラインでの学術講演会の形を模索することとなりました。Web配信をベースとしたオンライン・オンデマンド方式で学術講演と企業展示の機会を提供するとともに、贈賞式、特別講演、懇談会をオンライン・リアルタイム方式で行うことにより、参加者として一体感を感じられるように工夫いたしました。920名の方に参加登録をいただきましたこと、実行委員会から心より御礼申し上げます。

2. 学術講演会

学術講演会は、2021年3月16日(火)9時から22日(月)24時の日程で、あらかじめ提出された発表動画を、大会専用Webからログインして閲覧いただくオンライン・オンデマンド方式で実施しました。公開による質疑応答は、再生動画のコメント欄を利用いたしました。精密工学会では、すでに2020年の秋季大会において、この方式による学術講演会を実施しておりましたので、これをベースにして準備が進められました。

発表動画に対する公開質問期間を3月16日(火)9時から18日(木)24時まで、講演発表者からの質問への回答期限を3月22日(月)24時までと設定しました。短期間にもかかわらず、各セッションにおいて活発な意見交換が行われたようです。なお、会期後も公開質疑確認期間として、3月29日(月)正午まで質疑の内容と発表動画の閲覧を可能としました。最終的に、講演発表431件、キーノート講演6件、合計437件と、従来の対面式によるものと遜色のない規模の講演会となりました。

3. 新技術講演会

3月16日(火)13時より、賛助会員の会が企画するニューテクノロジーフォーラム「計測が未来を拓く」がオンライン・リアルタイム方式で開催され、70名の方にご参加いただきました。

最初に、会長の(株)東京精密の丸山聡様よりご挨拶いただいた後、マツダ(株)の安達範久様、(株)島津製作所の藤本弘之様、(株)デンソーの笹田星児様、(株)ミットヨの久保光司様より、計測技術の開発や活用事例に関する話題を提供していただきました。どの講演も大変興味深い内容で、それぞれライブでの質疑応答が行われました。最後



図1 大会専用Webのトップページ

に、新たに会長となられた(株)ジェイテクトの林田一徳様からご挨拶いただき、盛会のうちに終了しました。

4. 贈賞式・特別講演会

3月17日(水)13時より、オンライン・リアルタイム方式で各賞の贈賞式が行われました。まず、3名の新名誉会員が紹介された後、論文賞3件、沼田記念論文賞2件、高城賞2件、研究奨励賞5件への贈賞が行われました。続いて、3名の新フェロー、6名のアフィリエイト認定者が紹介され、最後に賛助会員18社に対する感謝状の贈呈が行われました。

贈賞式終了後に、オンライン・リアルタイム形式で行われた特別講演では、電気通信大学大学院 情報理工学研究所情報学専攻 坂本真樹教授に、「感性を理解する人工知能研究の実業務への展開」というテーマでご講演いただきました。直感的な言葉から感性を抽出するなど、感性的な表現を可能にする人工知能研究に基づいた、顧客の感性に訴求する製品・サービスの開発に関する内容で、基礎研究から実業務への展開まで非常に興味深い話題をご提供いただきました。

5. オンライン展示会

従来は現地で行われていた先端技術・機器およびカタログ展示会を開催して、参加者の皆様にお越しいただいておりました。今回は対面方式の展示会を開催することができませんでしたが、参加者の皆様に精密工学を支える企業から最新の製品や技術を紹介する機会を継続するためにオンラインによる展示会を企画し、大会専用Webに本展示会のリンクを作成して、どなたでも自由に閲覧できるようにいたしました。出展企業様には特典として、1社につき2名を講演会

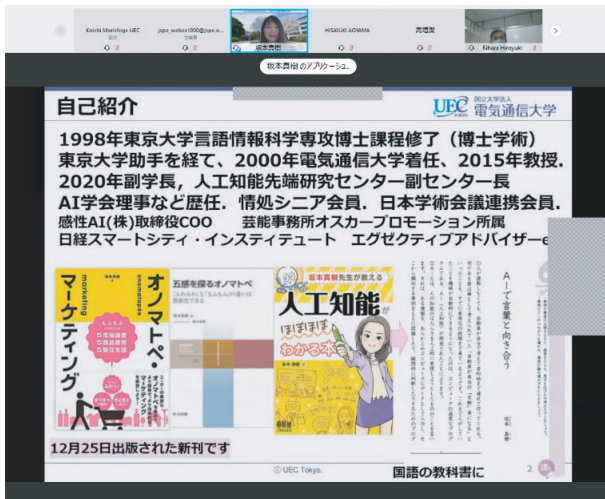


図2 特別講演会の様子



図3 Remoによるオンライン懇談会

に招待し、大会 Web トップページへのバナー広告の掲載、さらに、出展内容に関するセッションを2つご指定いただき、そのセッションの講演発表動画に続けて出展社専用ページへのリンクを作成して、講演発表動画とあわせて閲覧できるようにいたしました。

短い応募期間だったにもかかわらず、(株)牧野フライス製作所、ヤマザキマザック(株)、ホーコス(株)、(株)CGTech、日本ガイシ(株)、日産自動車(株)、日本精工(株)、住友電気工業(株)の8社様にご出展いただきました。大会期間中のオンライン展示会サイトへの総アクセス数は741となり、多くの会員の皆様にご参加いただけましたようです。

6. 学生会員卒業研究発表講演会

一般の講演会と併催する形で、第28回「学生会員卒業研究発表講演会」がオンライン・オンデマンド方式で行われました。学生会員卒業研究発表講演会の趣旨は、学生会員の学会への参加意識を高めると同時に、研究発表の機会を与えて育成することにあります。こちらも短い募集期間であったにもかかわらず、55件の発表が集まりました。アフィリエイト委員会の審査により、優秀講演者として最優秀講演賞1名、優秀講演賞2名、エクセレントプレゼンテーション賞7名、合計10名の受賞を決定し、受賞者には賞状が郵送され、学会 Web にて受賞内容を公表いたしました。なお、本講演会の企画および運営においては、アフィリエイトの皆様の多大なるご協力がありました。この場をお借りして御礼申し上げます。

7. オンライン懇談会

従来の対面式の懇親会のように、会員が一堂に集って交流する機会をオンラインで提供できないか検討した結果、オンライン会議ツール「Remo Conference」(以下、Remo)を利用したオンライン懇談会を開催することになりました。Remoは、スピーカーが参加者全員にスピーチ

するだけでなく、複数のテーブルと椅子で構成されたフロアがいくつか設置された2Dマップ上に、参加者がリアルタイムにアクセスして、それぞれのテーブルでビデオ・オーディオ・チャットを使用して会話を楽しむことができます。

オンライン展示会に出展いただいた企業専用のテーブルを用意するなど、技術的な交流もできるように考慮して準備をして本番を迎えましたが、参加者が50名にも満たないという残念な結果に終わってしまいました。Remoを利用した懇談会のイメージを十分に周知できなかったことなど、反省すべき点は多々ありますが、参加いただいた方にはオンライン懇談会の可能性や課題を理解していただけたのではないかと考えております。今後、同じような企画をするときの参考になれば幸いです。

8. おわりに

今回、図らずも精密工学会として2回目となるオンラインによる大会の開催をお手伝いすることになりました。2021年5月の段階でも新型コロナウイルス感染状況の先行きは不透明なままであり、しばらくこのような形の大会が続く可能性があります。インターネットを介した学術講演会は、学際的な意見交換だけでなく、産業界との連携をよりスムーズに形成することも期待されます。現在、各分野で進んでいるデジタルトランスフォーメーションがさらに加速化するなど、後戻りはできない可能性も見え隠れしており、今後の国内外の学術講演会のあり方についても慎重に検討される時期なのかもしれません。

本大会の企画・運営においては、学会事務局のご尽力がきわめて大でありました。誌面をお借りして御礼申し上げます。最後に、本大会に参加いただき、ご協力いただいたすべての皆様に対して重ねて御礼申し上げます。

(文責：大会幹事 森重功一)